

令和6年度

第2回施設長・管理者等連絡協議会

福島県知的障害者福祉協会

福島県知的障害者福祉協会
令和6年度第2回施設長・管理者等連絡協議会 次第

令和6年12月11日(水) 14:00～
郡山市総合福祉センター5階集会室

1 開会宣言

2 会長挨拶

3 議案

【報告事項】

- (1)令和6年度日本・東北地区・福島県知的障害者福祉協会活動報告(中間) . . . P 3
(2)令和7年度県への要望事項の報告 . . . P 8
(3)令和6年度各部会・委員会活動中間報告
・児童発達支援部会 . . . P 9
・障害者支援施設部会 . . . P 10
・日中活動支援部会 . . . P 12
・生産活動・就労支援部 . . . P 13
・地域支援部会 . . . P 14
・支援スタッフ部会 . . . P 15
・人権・倫理委員会 . . . P 18
・政策委員会 . . . P 19
・研修委員会 . . . P 20
・福島県自立支援協議会地域生活支援部会 . . . P 21

【協議事項】

- (1)原町共生授産園虐待事件について . . . P 23
(2)令和7年度全国知的障害福祉関係研究大会(福島)について . . . P 24

4 その他

○令和7年度「生活サポート総合補償制度」改定内容について

5 閉会宣言

【 報 告 事 項 】

令和6年度 日本・東北地区・福島県知的障害者福祉協会 活動報告（中間）

(1) 日本知的障害者福祉協会

事業名	開催日時	開催場所	備考
全国知的障害関係施設長等会議	令和6年7月11日（木）～12日（金）	東京都	集合開催
日中活動支援部会全国大会	令和7年1月29日（水）～30日（木）	埼玉県	集合開催
障害者支援施設部会全国大会	令和6年12月19日（木）～20日（金）	広島県	集合開催
全国知的障害福祉関係職員研究大会	令和6年10月3日（木）～4日（金）	福井県	集合開催
全国グループホーム等研修会	令和6年9月12日（木）～13日（金）	兵庫県	集合開催
相談支援・就業支援セミナー	令和6年10月24日（木）～25日（金）	東京都	集合開催
全国障害者芸術・文化祭	令和6年10月14日（月）～11月24日（日）	岐阜県	集合開催
全国障害者スポーツ大会	令和6年10月26日（土）～28日（月）	佐賀県	集合開催
全国会長・事務局長会議	令和6年10月30日（水）～31日（木）	東京都	集合開催
全国児童発達支援施設運営協議会	令和6年11月25日（月）～26日（火）	福岡県	集合開催
リスクマネジャー養成研修会（上級）	未定	未定	未定
リスクマネジャー養成研修会	令和6年11月27日（水）～29日（金）	東京都	集合開催
部会協議会及び全国支援スタッフ委員会代表者会議	令和7年3月6日（木）～7日（金）	東京都	集合開催

(2) 東北地区知的障害者福祉協会

事業名	開催日時	開催場所	備考
令和6年度第1回合同委員会及び理事会・監事会、研修委員会	令和6年5月14日（火）	宮城県	集合開催
令和6年度施設長・管理者等連絡協議会及び定期総会	令和6年6月13日（木）～14日（金）	秋田県	集合開催
第1回東北フォーラム実行委員会・第2回研修委員会	令和6年7月9日（火）	岩手県	集合開催
第3回研修委員会	令和6年7月19日（金）	—	オンライン開催
第2回東北フォーラム実行委員会	令和6年8月5日（月）	岩手県	集合開催
第4回研修委員会	令和6年9月4日（水）	—	オンライン開催
第3回東北フォーラム実行委員会	令和6年9月6日（金）	岩手県	集合開催
令和6年度東北地区専門研修会	令和6年9月12日（木）～13日（金）	福島県	集合開催
第4回東北フォーラム実行委員会	令和6年11月6日（水）	—	オンライン開催

東北フォーラム 2024inいわて	令和6年11月19日(火)～20日(水)	岩手県	集合開催
-------------------	----------------------	-----	------

(3) 福島県知的障害者福祉協会

事業名	開催日時	開催場所	備考
令和6年度障害福祉サービス等報酬改定と地域移行に係る研修会	令和6年4月17日(水)	—	オンライン
第1回理事会	令和6年4月19日(金)	西郷村	集合開催
令和6年度福島県知的障害者福祉協会定期総会及び第1回施設長・管理者等連絡協議会	令和6年4月26日(金)	郡山市	集合開催
第1回正副会長会議	令和6年5月15日(水)	西郷村	集合開催
令和6年度第1回全国知的障害福祉関係職員研究大会(福島大会)実行委員会	令和6年7月22日(月)	西郷村	集合開催
臨時理事会	同上	同上	同上
第60回全国福祉関係職員研究大会(福井)視察	令和6年10月3日(木)～4日(金)	福井県	集合開催
第2回正副会長会議	令和6年10月10日(木)	西郷村	集合開催
第11回作文コンクール福島県入賞作品選定	同上	同上	同上
第3回正副会長会議	令和6年11月27日(水)	—	オンライン
令和6年度第2回全国知的障害福祉関係職員研究大会(福島大会)実行委員会	令和6年11月29日(金)	—	オンライン
第2回理事会	令和6年12月4日(水)	西郷村	集合開催
第2回施設長・管理者等連絡協議会	令和6年12月11日(水)	郡山市	集合開催
令和6年度合同研修会実行委員会	令和7年2月【中止】	—	—
令和6年度福島県知的障害者福祉協会合同研修会	令和7年2月【中止】	—	—

令和6年度 福島県知的障害者福祉協会事業活動報告

令和6年12月1日現在

- 1 日本知的障害者福祉協会及び東北地区知的障害者福祉協会等との連携を密にし、県内施設間での情報交換や組織的活動を活発化する。

・協会組織と外部団体

令和6年度においては新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したこともあり、第1回理事会および総会においては集合型による開催となった。

また、福島県知的障害児者生活サポート協会についても同様に理事会及び代議員総会を集合で開催となった。

東北地区知的障害者福祉協会の理事会及び合同委員会でも集合による会議が実施され、関係者の皆様がそれぞれに参加することが出来ていた。

その他、外部団体との連携として、「公益財団法人 福島県障がい者スポーツ協会」、「福島県障がい者社会参加推進協議会」の役員も福島県知的障害者福祉協会として会長が受けている。

1. 福島県知的障害者福祉協会	会長	江尻勝巳
	同 副会長	岡崎立郎
	同 同	鈴木繁生
	同 事務局長	和知俊之
	同 事務局員	田中春光
	同 同	増井義仁
	同 同	矢部美咲
2. 福島県知的障害児者生活サポート協会	理事長	岡崎立郎
	同 副理事長	鈴木繁生
	同 同	江尻勝巳
3. 東北地区知的障害者福祉協会	常任理事（副会長）	江尻勝巳
	同 理事（児童発達支援部会）	佐藤元彦
	同 人権倫理委員会委員	細井昌樹
	同 政策委員会委員長	古川彰彦
	同 政策委員会委員	渡部和哉
	同 研修委員会委員	品川寿仁
4. （公財）日本知的障害者福祉協会	政策委員会委員	古川彰彦

- 2 障害者権利条約の理念の基で障害者総合支援法が円滑に施行されるよう県内の意見集約に努め、日本知的障害者福祉協会への提言を行う。

・政策提言等への取り組み

「令和7年度福島県予算編成に対する各団体の要望事項等」に対し会員パブリックコメントを実施し、新規要望事項3件を福島県社会福祉協議会を通して福島県保健福祉部へ提出した。(要望事項及び県回答は別紙参照)

東北地区知的障害者福祉協会理事会において、報酬改定について協議し意見集約をし、日本知的障害者福祉協会へ提言を行った。

- 3 全国の都道府県協会の先駆的な取り組みとして、加盟全事業所に「人権擁護委員会」が設置され、人権擁護と意思決定支援に基づく利用者支援の展開が図れるよう協力する。
 - ・人権擁護と意思決定支援の取り組み
令和4年度から、全サービス対象に「虐待防止委員会の設置等」「従業者への研修の実施」「虐待防止等の為の責任者の設置」が義務化された。
福島県では人権倫理委員会で作成している「虐待防止自己チェック表」「人権擁護委員会設置に関するアンケート」などによりいち早い取り組みがされている。
- 4 部会毎の研修を充実させることにより、加盟施設・事業所の人材育成に寄与できるよう、部会・委員会活動を支援する。
 - ・研修の取り組み
各部会及び委員会においては、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行し、集合型の研修を行っている部会もあり、また、zoomなどを利用したweb会議や研修など、各部会・委員会で工夫して活動していただいた。
合同研修会については早くにお伝えした通り、来年度の全国知的障害福祉関係職員研究大会へ注力するため、中止とさせていただいた。
- 5 福島県社会福祉協議会、障がい児者福祉施設協議会との協力を密にする。
 - ・福島県が実施する「障がい児者福祉施設等への応援職員派遣支援事業」への連携協力
福島県社会福祉協議会 障がい児者福祉施設協議会が主となる体制で、障がい児者施設等でクラスターが発生した場合の応援職員派遣事業へ県協会として連携協力体制を整えた。
 - ・【障害福祉サービス事業所等危機対応支援強化事業】
「相互支援ネットワーク検討会」
福島県社会福祉協議会が県からの委託を受け、福島県内の障害福祉サービス事業所の災害時をはじめとした事業を開始。災害発生時に相互に支援できるよう、「相互支援ネットワーク検討会」を県内の障がい児者福祉施設協議会・知的障害者福祉協会・身体障害者施設協議会の3団体が連携して活動することとなった。
福島県知的障害者福祉協会からは会長・副会長の3名が参画。
第1回 8月28日(金) 第2回 11月6日(水)
- 6 福島県との情報交換を密にし、県が主催する各行事に協力する。
福島県障がい者施策推進協議会条例に基づき、福島県障がい者施策推進協議会の委員

として岡崎立郎副会長が参画して、「障がいのある人もない人も共に暮らしやすい福島県づくり条例」及び「福島県手話言語条例」に基づく取り組み状況、「第5次福島県障がい者計画」の実施状況について精査検討しました。

- 7 日本知的障害者福祉協会や東北地区知的障害者福祉協会が主催する各種会議や研修会等への協力を行う。
 - ・第11回全国障がい福祉ふれあい作文コンクールの取り組み
従来の福島県教育庁からの周知協力に加えて、会員施設・事業所へも近隣の小・中学校への案内周知を依頼した、今回は22作品の応募と少なかったが、10月10日に正副会長と事務局にて選定会議を開催し日本知的障害者福祉協会へ提出する作品の選定作業を実施した。
- 8 組織強化と加盟促進並びに人材確保を図るために、県協会ホームページを活用する。
 - ・広報の取り組み
協会ホームページにより、会員施設及び協会の広報活動を実施。
今年度は年度当初より会員数が6増え117施設・事業所として活動している。
- 9 相談支援部会の発足を円滑に進める。
会員事業所に対し併設等の相談支援事業所の加入促進の取り組みを行った。相談支援事業所加盟は福島県協会の会費徴収なしで組織化する計画であるが、2事業所のみ
の加盟状況に変わりなく、会員に対して更なる加盟協力を仰ぎたい。
- 10 全国知的障害福祉関係職員研究大会（令和7年度福島大会）開催に向け、実行委員会を組織し準備を進める。
 - ・実行委員会の開催および視察研修
来年11月に開催が予定されている上記大会について、開催準備に伴い第2回実行委員会を7月22日に開催した。10月3日～4日に本年度開催県の福井県へ視察研修を行い、開催に係る方法や資料などの共有をした。3日には日本知的障害者福祉協会役員及び事務局と進捗状況について話し合いを持ち、いくつかの変更指示を受け、現在、基調講演や分科会の内容検討を行っている。
- 11 新型コロナウイルスが第5類に分類された後も、感染症の予防対策・感染防止の徹底を図るように促すと共に、感染状況によっては事業所間の連携を図り、出来る範囲で協力と応援体制が組めるように努める。
- 12 その他
令和5年度において、利用者への権利侵害（虐待）が2件発生している。
協会として聞き取り調査を行い、日本知的障害者福祉協会へ報告を行った。
発生事業所に関しての対応は日本知的障害者福祉協会からの回答待ちとなる。

令和7年度県予算編成に対する補助・委託財源要望事項

団 体 名：福島県知的障害者福祉協会

代表者氏名：江尻勝巳

連絡先 (TEL) : 0248-25-3020

番号	新規 継続	項目	要望理由	所要経費	関係部課
1	継続	新型コロナウイルス感染症による収入減少に対する補助	令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症が5類に位置付けられたことで以前施設を休む方に対して行っていた電話相談支援が給付の対象外になり、請求できなくなった為、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を継続していただけますようお願いいたします。	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 必要経費	保健福祉部障がい福祉課
2	継続	物価高騰対策	近年、原油価格が高止まりの状態エネルギー関連、食材費の物価高騰の影響を受け、事業所の経費が大幅に増大している為、電気ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金を継続していただけますようお願いいたします。	電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金 必要経費	保健福祉部障がい福祉課
3	新規	新型コロナウイルス等感染症対策	新型コロナウイルス感染症はインフルエンザと同じ5類に移行されたが、感染力が強く感染予防対策がしにくい。また、福祉施設において感染者が発生した場合、クラスターとなる危険性が高く、感染拡大を防ぐ必要がある。保護者や本人の負担軽減を図る為にも、自己負担（最大7,000円）となったワクチン接種料に対する補助制度の新設。また、水際対策としてのコロナとインフルエンザの両方が検査できる検査キットの配布をお願いいたします。	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 必要経費 <例> ワクチン補助 7,000円÷2×施設利用者数 検査キット配布 昨年クラスターが発生した施設利用者数×3	保健福祉部障がい福祉課

令和6年度児童発達支援部会中間報告

児童発達支援部会
部会長 佐藤元彦

【児童発達支援部会としての活動報告】

*下記研修会を実施した。

令和6年11月16日(土) 福島県；玉川村たまかわ体育館

令和6年児童発達支援部会研修会開催(参加人数；18名)

第1部オープニング 『癒しの瞬間(とき)』ピアノ演奏：塩澤輝さん

第2部講演 『児童発達支援センターの役割と機能』

講師：たむら地方児童発達支援センター 所長 持館純子氏

【児童発達支援部会長としての活動報告】

*下記大会並びに会議に参加した。

令和6年5月1日(水) オンライン会議

令和6年度 東北地区知的福祉協会 常任理事会・部会代表者等会議

令和6年5月29日(水) 東京；浜松町

日本知的福祉協会第1回児童発達支援部会

令和6年6月13日(木) 14日(金) 秋田市

東北地区知的福祉協会定期総会・施設長連絡会

令和5年7月22日(月) 福島県；太陽の国

令和6年度 福島県知的障害者福祉協会臨時理事会

令和7年度 全国知的障害福祉関係職員研究大会(福島)に係る実行委員会

令和6年8月7日(水) オンライン会議

日本知的福祉協会第2回児童発達支援部会

令和6年10月3日(木) 4日(金) 福井市

令和6年第60回全国知的障害福祉関係職員研究大会福井大会

令和6年10月23日(水) 東京；浜松町

日本知的福祉協会第3回児童発達支援部会

子ども家庭庁意見交換会

令和6年11月25日(月) 26日(火) 福岡市

令和6年度 第21回 全国児童発達支援施設運営協議会(福岡大会)

日本知的福祉協会第4回児童発達支援部会

令和6年度 障害者支援施設部会活動報告（中間報告）

障害者支援施設部会
部会長 佐川 滋

1. 県の部会活動報告

(1) アンケート調査

①「施設におけるIT・ICT・ロボット等の導入」について

②「施設の運営状況」について

- ・実施期間：令和6年8月26日～9月20日
- ・実施方法：メール一斉送信、郵送による依頼
- ・回答方法：メール
- ・回答率：92.9 %（28施設中26施設が回答）

(2) アンケート集計報告

- ・報告日：令和6年10月22日
- ・報告手段：メール一斉送信

(3) 令和7年度 第61回 全国知的障害福祉関係職員研究大会に係る分科会講師の選定及び講師へのお礼を兼ねたご挨拶。

- ・10/18 柚原副部会長と東京のNEC本社へ。

(4) 第60回全国知的障害福祉関係職員研究大会（福井大会）の参加

- ・10/3、4 来年度の福島大会の視察に協会の役員・事務局と福井市に視察に行ってきました。

(5) その他

- ・アンケートの集計結果をメール送信した際、(3)、(4)については報告致しました。

2. 東北地区部会活動報告

(1) 東北地区知的障害者福祉協会 第1回部会代表者会議が5/1に開催され（Zoom）、①令和6・7年度部会長・副会長選任について、②各部会の現状と課題、在り方等について、③その他情報交換を行った。

(2) 「令和6年度 東北地区知的障害者福祉協会 定期総会・施設長等連絡会・部会協議会が令和6年6月13日（木）～14日（金） 秋田県の「秋田キャッスルホテル」で開催された。

3. 全国部会活動報告

(1) 第12回障害者支援施設部会全国大会 広島大会が12月19（木）、20（金）、広島県広島国際会議場で開催。

4. 中間報告のまとめ

アンケート調査については、予定通り実施できた。研修会については時間がなく企画出来なかった。その代わり、2つのテーマを主題にした「アンケート調査」の結果を配布でき良かった。

来年度開催の福島大会に向けて、打ち合わせを集合かオンラインで企画したが、現時点で「大会要項」が出来上がってない為、開催できなかった。

令和6年度 日中活動支援部会事業中間報告

日中活動支援部会
部会長 小沼貴久

1. 令和6年度事業計画に伴う中間報告

① 職員研修

令和6年9月6日(金) 13:15～15:15

オンラインセミナー

テーマ：講演 テーマ：障がい者支援とテクノロジー

講師：学校法人 梅檀学園

東北福祉大学 総合マネジメント学部

情報福祉マネジメント学科

高橋 俊史 氏

参加事業所：22事業所(28事業所中)

参加人数：35名

※研修後アンケートを実施し、17件の回答があった。参加者からとても興味深い内容だったとの意見の反面、支援者側に活用するテクノロジーの話をもっと聞きたかった。又、具体的に障がい福祉の分野に活用されている事例等をもっと聞きたかった等、支援者側からのテクノロジー活用について、より深い研修内容にして頂きたかったと数多くの要望が寄せられた。難しいテーマでの研修会ではあったが、有意義な研修となったかと思われる。

② 視察研修会

2. 日中活動支援部会活動

- ① 令和6年7月11・12日 全国知的障害関係施設長等会議が対面及びオンデマンド配信で開催
- ② 令和6年7月22日 令和7年度全国知的障害福祉関係職員研究大会(福島大会)に係る実行委員会開催
- ③ 令和6年10月3・4日 令和6年度第1回全国障害者福祉関係職員研究大会(福井大会)が開催

令和6年度 生産活動・就労支援部会中間報告

生産活動・就労支援部会
部会長 齋藤 裕二

1. 事業計画に対する進捗等

① 全国知的障害関係施設長等会議

期日：令和6年7月11日（木）、12日（金）

場所：東京都（東京フォーラム）

② 全国知的障害福祉関係職員研究大会

期日：令和6年10月3日（木）、4日（金）

場所：福井市

当部会長を含む県協会役員等で視察することとなったことから、視察結果を部会員に報告し、情報共有をはかった。

③ 東北地区施設長等会議

期日：令和6年6月13日（木）、14日（金）

場所：秋田県

④ 全国生産活動・就労支援部会職員研修会

期日：令和6年12月2日（月）、3日（火）

場所：東京都（東京グリーンパレス）

2. その他

① 部会オンライン会議

期日：令和6年5月10日

内容：役員選出

令和 6 年度 地域支援部会中間報告

地域支援部会
部会長 荒 里美

1. 部会活動

8月27日(火)	オンライン会議	令和7年度全国知的障害福祉関係職員研究大会に向けて、大会趣旨などを部会内で共有講師やテーマについて、協議した
11月25日(月)	オンライン会議	全国グループホーム等研修会(山形)第1回実行委員会へ部会長荒が参画

2. 視察

10月3日(木) ~4日(金)	令和6年度全国知的障害福祉関係職員研究大会 <福井大会>	令和7年度全国知的障害福祉関係職員研究大会に向け、運営方法などを視察 視察者 部会長 荒
--------------------	---------------------------------	---

3. 今後の活動予定

12月中旬に部会内でオンライン会議を予定

<議題>

令和7年度知的障害福祉関係職員研究大会担当分科会のテーマ等について
講師は、東洋大学 教授 高山 直樹 氏(予定)

令和6年度 支援スタッフ部会 年間活動報告 (11月15日現在)

【会議内容】

事業名	開催年月	内容	開催場所
第1回 支援スタッフ部会 役員会	5月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度 事業報告及び収支決算報告 ・令和6年度 事業計画・予算確認 ・令和6年度 スタッフ部会総会について 	障がい者支援施設 あさかあすなろ荘
令和6年度 支援スタッフ部会 総会	5月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度 活動報告及び収支決算報告 ・令和6年度 活動計画・予算確認 ・スタッフ部会名簿作成 ・令和6年度 部員顔合わせ 	郡山総合福祉センター 5階 集会室
第2回 支援スタッフ部会 役員会	7月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ部会規則について ・東北フォーラムについて ・各地区の活動について 	zoom 開催
第3回 支援スタッフ部会 役員会	8月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・東北フォーラムについて ・令和7年度「全国知的障害福祉関係職員研究大会」について(情報共有) ・各地区の活動について 	zoom 開催
第4回 支援スタッフ部会 役員会	9月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・東北フォーラムについて ・行動支援計画スキル学習会について ・各地区の活動状況について 	zoom 開催
東北フォーラム 動画作成	9月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・東北フォーラム動画作成 	鮫川福祉会 鮫川たんぼぼの家
第5回 支援スタッフ部会 役員会	10月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・東北フォーラムについて ・行動支援計画スキル学習会について ・役員改選について ・各地区の活動状況について 	zoom 開催
第6回 支援スタッフ部会 役員会	11月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・東北フォーラムについて(最終確認) ・行動支援計画スキル学習会について ・各地区の活動状況について ・役員改選について(次期役員との顔合わせ、引継ぎ) 	zoom 開催
東北フォーラム 2024in いわて	11月19日 ～11月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・東北フォーラム全体会／分科会 ・研修、懇親会 	岩手県盛岡市

【各地区の活動報告】

○県北地区／施設・事業所数:17 箇所、委員数:17 名

日程	活動内容
・7月～8月	・東北フォーラム県発表動画用アンケートへの協力 ・感染症対策のため対面活動は自粛し、地区間で連絡ツールを活用し意見交換を行った。

○郡山地区／施設・事業所数:14 箇所、委員数:14 名

日程	活動内容
・7月～8月	・東北フォーラム県発表動画用アンケートへの協力
・7月23日	・学習会「意思決定支援会議の実践演習」（参加：5名／場所：あさかあすなろ荘）
・9月24日	・施設見学、学習会「ユニバーサルデザイン講座」「おおくま共生園若手職員との懇談」（参加：6名／場所：おおくま共生園）
・10月31日	・会議、意見交換（参加：6名／zoom開催）

○県中地区／施設・事業所数6 箇所、委員数:6 名

日程	活動内容
・7月～8月	・東北フォーラム県発表動画用アンケートへの協力
・7月17日	・会議、意見交換（参加：6名／zoom開催）
・11月14日	・県中、県南合同施設見学（参加：2名／場所：福島県けやき荘）

○県南地区／施設・事業所数:17 箇所、委員数:19 名

日程	活動内容
・7月～8月	・東北フォーラム県発表動画用アンケートへの協力
・7月22日	・会議、意見交換（参加：5名／zoom開催）
・9月25日	・会議、意見交換（参加：5名／zoom開催）
・11月14日	・県中、県南合同施設見学（参加：9名／場所：福島県けやき荘）

○会津地区／施設・事業所数:5 箇所、委員数:5 名

日程	活動内容
・7月～8月	・東北フォーラム県発表動画用アンケートへの協力
・8月28日	・会議、意見交換（参加：5名／zoom開催）
・10月17日	・施設見学（参加：5名／場所：あかまつ荘、下郷作業所ホイップ）

○いわき・相馬双地区／施設・事業所数:29 箇所、委員数:29 名

日程	活動内容
・7月～8月	・東北フォーラム県発表動画用アンケートへの協力 ・感染症対策のため対面活動は自粛し、地区間で連絡ツールを活用し意見交換を行った。

【特記】

・支援スタッフ部会総会

5月23日（木）、対面形式で実施。38事業所39名（委任25名）が参加し、審議内容については賛成多数にて可決となった。また、総会後に地区毎に分かれて顔合わせを行い、地区の年間予定の確認を行った。

・東北フォーラム

今年度の東北フォーラム動画のテーマは「福島一受けたい授業」。加盟施設の職員の「悩み」「相談」をアンケートで募り、その中から厳選した内容をベテラン職員に問いかけ、悩みを解消するための手がかりになればと思い作成した。動画には協会会長の江尻勝巳様にもご協力を頂いた。

・各地区の活動

地区ごとに会議・勉強会・施設見学を行い意見交換をしながら交流を深めた。また、横の繋がりを広げる目的として複数地区での合同施設見学（県中・県南）も実施した。連絡ツール（LINE）を活用し、意見交換や情報共有を行った。

・行動支援計画スキル学習会

令和7年1月21日（火）にzoomにて学習会の開催予定し、現在準備を進めている。講師は昨年同様「つばさ福祉会 おおぞらの夢 松原篤史様」に依頼し承諾を得ている。講義時間は1時間30分、定員はパソコン100台（講師1台、役員1台、事務局パソコン1台を含む）。パソコン台数に制限はあるが、参加人数は制限無し。案内文書、申し込み書は12月中に各施設へ発送予定。今後も人権倫理委員と情報を共有しながら準備を進めていく。

・令和7年度 全国知的障害者福祉関係職員研修大会

人権倫理委員長と講師の選定を行っている。意思決定支援に関する内容を予定。

・その他

- ・役員分のUSBメモリーを購入した。役員改選時に活用していく。
- ・スタッフ部会規則・役員マニュアルを作成中。
- ・いわき相双地区の再編成（いわき相双は一つの地区となっているが、面積が広く集まる際の移動距離が長いことや加盟施設が多いため、いわき地区と相双地区に区切る）。また、輪番表の見直しを行った。
- ・令和7年度は役員改選次期のため、11月12日に現役員と次期役員の見直しを実施し、今後の予定や大まかな引き継ぎを行った。今年度中にもう一度会議を計画し、役割ごとに詳細についての引き継ぎを行う予定。

【総評】

- ・案内文の発送や会議の準備等、事務局の協力を得ながら円滑に進めることが出来た。
- ・昨年同様、感染症対策のため思うような活動ができなかった地区もあるが、zoomを利用し活発な意見交換を行ったり、施設見学を実施し以前の様な活動を再開することができた。また、スタッフ部会独自の規則作成や地区構成の見直しなど、土台の再構築に努めている。

以上

支援スタッフ部会
部会長 鈴木 勝治

令和6年度 福島県知的障害者福祉協会 人権・倫理委員会取り組み

人権・倫理委員会
委員長 細井昌樹

○令和6年7月3日(水)

人権・倫理委員会 第1回目の話し合い

- ・委員長と副委員長の選任
- ・年間スケジュールの確認

○令和6年10月7日(月)～11月5日(火)

令和6年度虐待防止自己チェック表 FJT-Ver.6 実施

- ・令和6年11月29日(金)までに実施結果報告書回収し集計後、各事業所・施設へ結果送信

○令和7年2月21日(金)

虐待防止に係る集合研修を予定

- ・講師 東洋大学 高山直樹 教授
- 場所 郡山市総合福祉センター
- 時間 調整中。

内容については 虐待事件が発生した施設の調査から見えてきたもの。それに伴う環境改善について等(まだ未定な所もある)

令和6年度 政策委員会 中間報告

政策委員会

政策委員長 渡部和哉

1 政策に関する中間報告

- (1) 「福島県自立支援協議会運営委員会」へ岡崎副会長が参画しています。
- (2) 東北地区知的障害者福祉協会と連携し、日本知的障害者福祉協会を介し障害福祉に関する政策の提言を継続していきます。
 - ・令和6年度障害福祉サービス等報酬改定実施後の影響についての課題や要望などの意見集約をしていきます。

令和6年度 研修委員会 中間報告

福島県知的障害者福祉協会

研修委員長 品川寿仁

副委員長 深谷亘弘

1. 研修に関する中間報告

(1) 合同研修会の企画・立案

令和6年7月の臨時理事会にて開催中止となる

(2) 各部会・委員会ごとの研修会

・各部会、委員会の報告のとおり

(3) 東北地区知的障害者福祉協会研修委員として参画する

・令和6年度東北地区知的障害者福祉協会専門研修会

「個別支援計画と意思決定支援」をテーマに前年度を引き継ぐ内容を開催県として実施

日時 令和6年9月12日(木)～13日(金)

会場 郡山ビューホテルアネックス

講師 東北福祉大学 総合福祉学部社会福祉学科 教授 竹之内章代 氏

参加者 82名 講師含む運営スタッフ31名 合計113名

・東北フォーラム2024inいわて

日時 令和6年11月19日(火)～20日(水)

会場 岩手県盛岡市 ホテルメトロポリタン盛岡/県民情報交流センター

・東北未来塾開講準備

今年度実施については、開催主旨や予算を含め東北協会にて再検討となり保留中

(4) 令和7年度全国知的障害福祉関係職員研究大会(福島開催)に向けて

・研修委員として令和6年度開催の研究大会(福井)の視察に同行

(5) 「福島県障がい者施策推進協議会」へ参画する

・岡崎副会長が参画予定である

以上

【1】福島県自立支援協議会地域生活支援部会

- 6/11 第1回福島県自立支援協議会 地域生活支援部会
- ・R6年度活動方針 ・地域生活移行促進コーディネーター派遣事業
 - ・第7期福島県福祉計画 地域生活移行目標60名/1940名(R6~9)
- 8/5 施設入所者の地域生活への移行促進研修会
- 入所施設、基幹相談支援センター、障がい福祉課等 84名参加
- <事例紹介> あかまつ荘 渡部様 アガッセ 木村様
- 地域生活移行アンケート 市町村53 施設38 回答
- 12/2 第2回福島県自立支援協議会 地域生活支援部会
- ・自立支援協議会報告 ・コーディネーター派遣事業について
 - ・強度行動障がい支援検討ネットワーク（子ども部会と合同）
 - ・R6年中核的支援人材養成研修実施状況

【2】地域生活支援部会 部会長として以下の会議に出席

- 10/2 福島県自立支援協議会 運営委員会
- ・第5次福島県障がい者計画の実施状況
 - ・第6期福島県障がい福祉計画、第2期福島県障がい児福祉計画の実施状況
 - ・福島県自立支援協議会運営委員会における協議事項の検討、調整方法について
 - ・福島県自立支援協議会における協議事項について
- 10/31 福島県自立支援協議会
- ・運営委員会の内容確認
 - ・協議1 医療ケア児の支援体制について
 - ・協議2 双葉郡からの避難住民への支援体制について
- その他 ①福島県災害ケースマネジメント
②障がい児者施設危機対応強化支援事業

【3】住宅確保要配慮者あんしん居住支援専門部会

- 8/29 R6年度第1回あんしん居住支援専門部会
- ・R5年度居住支援部会事業報告 各圏域の取組など
 - ・R6年度居住支援部会事業計画 他

【 協 議 事 項 】

【原町共生授産園 入所者への虐待についての聞き取り】

- 1 日 時 令和6年11月26日(火) 13:30~14:45
- 2 場 所 原町共生授産園
- 3 概 要

【虐待内容】

令和6年3月17日(日)14時頃、入浴支援時に職員が被害者の左鼠径部に内出血を発見。翌18日(火)通院し、内出血が酷いためその後入院。医師から「強い衝撃による受傷」との説明を受け、家族から虐待の可能性調査依頼を受けた医師が市に報告。3月21日(木)、すでに退職予定で年休を消化していた加害職員へ聞き取り実施。『3月17日(日)2時28分頃、被害者から衣類交換の要求があったが休むよう促し、指示に従わせようと背中を故意に強く押したため転倒し、ベッド柵に鼠径部をぶつけた』との説明があり市に通報。9月3日(火)の公判で、「蹴り」による怪我であったことが判明。

【聞き取り内容要約】

加害職員は令和2年に前事業所(児童施設)において暴言による虐待認定を受けており、その後更生認定され当事業所に配属となった。管理者を含めた全職員はその内容を知っており、加害職員の様子を見ていたが、支援に問題はないと思っていた。

職員間の意思疎通に問題はなく、メンター職員との関係性も悪くないと思っていたが、公判で「上司に相談しにくい」との証言があった。

被害者は昼夜逆転、衣類等の収集癖による他者トラブル、転倒リスクなどにより、早番・遅番の職員による、ほぼ24時間体制での見守りが必要とされる状況。

防犯カメラの画像調査及び、他利用者・職員からの聞き取りの中で虐待に繋がる情報はなく、加害職員への聞き取りでは真実を語ることはなく、公判で真実が明らかになった。

【問題点】

- ・権利擁護や虐待防止に関する研修を行っていたが、不十分であった。
- ・被害利用者に対する24時間見守り体制による支援が大きな負担となっていた。
- ・コミュニケーションを図っていたが、加害者は相談しにくいと感じていた。
- ・加害職員と連絡が取れずに怪我の詳細が分からず、市町村への報告が遅れた。
- ・前事業所(児童施設)において虐待認定された職員は今回の加害者を含め3名いたが、いずれも更生認定を受けて配置転換されている。

【まとめ】

加害職員は過去に虐待があり更生認定後当事業所に配属となっており、管理者を含めた全職員が本人の行動を注意して見ている状況であった。また、基幹相談支援センターによる権利擁護関係の研修を受けたり、管理者、サビ管およびメンター職員がコミュニケーションを取っていた。しかしながらその成果は虚しく、今回の虐待を防ぐことは出来なかった。

人材不足、とくに男性職員が不足しており、募集しても集まらない状況があり、支援度の高い利用者に対して、職員に大きな負荷がかかる状況であった。そのような状況を法人側に話をするものの各事業所で対応するようにとの話だけであったこと、また、過去に虐待を起こした職員を配置転換するという、法人側の人材に対する考え方に疑問を感じるころであった。

今回の聞き取りにおいては、管理者が法人へ意見することへの難しさを匂わす場面があり、大きな法人での透明性や風通しの良さが非常に重要な要因となることを感じたところである。

第61回 全国知的障害福祉関係職員研究大会 福島大会 開催要項 (案)

大会テーマ

『明るい未来と未来の福祉』

～支援に携わる職員が福祉の未来を形作る～

【趣 旨】

今、障がい福祉の現場で働いている職員の皆さんは、自分の仕事に誇りや夢を持っていますか。日々の業務に追われ、初めて仕事に就いた時の気持ち、夢や希望を忘れていませんか。障がい福祉の現場で働いている職員の皆さんには、ソーシャルワーカーとして高い専門知識と実践の積み重ねによる専門性が求められています。しかしながら、超高齢・少子化社会における深刻な人材不足等は支援の質の低下を招き、支援に携わる職員の皆さんを疲弊させています。

このような中、デジタル技術の躍進は私たちの生活や仕事などに様々な変化をもたらしており、私たちはそれらの発展に一筋の光を見出すと共に否が応でも変化や対応を迫られています。その一方で、福祉は人と人が支え合う対人支援・対人サービスであり、いかにデジタル化が進もうともアナログマインドが根底に息づいています。

デジタルとアナログが交錯する未来において、障がいのある人(クライアント)の幸せとは、支援者としてのやりがいとは何なのでしょう。本研究大会では、変わりゆく福祉と変わらない福祉の未来を支える職員の皆さんに、あらためて福祉の仕事の楽しさと明るさを伝え、夢や希望を持って働くことを目的に開催します。未来の福祉に思いを馳せながらも福祉の原点に立ち返る中で、福祉に携わる職員のやりがいや元気を取り戻し、明るい未来について語り合しましょう。

【開催日】

2025年11月27日(木)～28日(金)

【会 場】(全体会・分科会)

ビッグパレットふくしま(福島県郡山市南二丁目52番地)

【プログラム】(詳細は調整中)

1日目:全体会(開会式・表彰式・行政説明・講演Ⅰ・講演Ⅱ)

情報交換会(別会場にて開催)

2日目:分科会(6分科会)

【主 催】

公益財団法人 日本知的障害者福祉協会

東北地区知的障害者福祉協会

福島県知的障害者支援協会

後援（予定）

厚生労働省 文部科学省 福島県 郡山市 （社福）全国社会福祉協議会 （一社）全国手をつなぐ育成会連合会 （一社）全国知的障害者施設家族会連合会 （社福）全国重症心身障害児（者）を守る会 （公社）全国脊損傷者連合会 （一社）全国肢体不自由児者父母の会連合会 （一社）全国児童発達支援協議会 （公社）日本重症心身障害福祉協会 （公社）日本精神科病院協会 全国社会就労センター協議会 （特非）日本相談支援専門員協会 （特非）全国地域生活支援ネットワーク 障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会 （特非）日本障害者協議会 （一社）日本発達障害ネットワーク （公社）日本発達障害連盟 （一社）日本自閉症協会 （社福）福島県社会福祉協議会 （社福）福島県知的障害者福祉協会 福島県知的障害児者生活サポート協会

【実施方法】

対面

【会 場】

ビックパレットふくしま

【参加対象者】

知的障害関係施設・事業所の職員、福祉に関心のある方

【大会参加費】

16,000円

【情報交換会費】

12,000円

【大会日程】

令和7年11月27日（木）	
11:30	受付
12:30	開会式・表彰式
13:30	行政説明（厚生労働省）
14:30	休憩
14:50	基調講演Ⅰ（現在調整中。）
15:50	休憩
16:10	基調講演Ⅱ 近藤美智子氏（日本音楽療法学会認定音楽療法士）
17:10	事務連絡
17:15	移動
18:30	情報交換会

令和7年11月28日（金）	
9:00	受付
9:30	次期開催県PR動画紹介
9:40	3分科会「デジタル」
11:10	昼食
12:40	3分科会「アナログ」
14:10	閉会式
14:20	大会終了

分科会：テーマ	会場	担当
<p>テーマ：「検討中」 サブテーマ：～未定～ ※大会趣旨にあるアナログマインドに関する内容で検討中。講師については福島学院大学講師川島氏に依頼予定。 第1分科会 略称：_____</p>	未定	児童発達支援部会
<p>テーマ：「福祉におけるデジタル技術の日本と海外の比較について」 サブテーマ：～未定～ 講師：株式会社国際社会経済研究所調査研究部 遊間和子氏 ※電子メールにて本人より、内諾を得ている。なお、令和6年10/18日に改めて部会長並びに副部会長2名にて、講師依頼について挨拶に出向いている。 第2分科会 略称：_____</p>	未定	障害者支援施設部会
<p>テーマ：「障がい者支援におけるDXの活用と現状」 サブテーマ：～未定～ 講師：東北福祉大学 高橋俊史氏 清水基金 主事 岡田氏 第3分科会 略称：_____</p>	未定	日中活動支援部会
<p>テーマ：「障害者支援施設におけるIT・AI導入と工賃向上」 サブテーマ：～未定～ 講師：スマートインクルージョン推進機構 竹村代表理事 ※電話やメールにて依頼し、内諾を得ている。 第4分科会 略称：_____</p>	未定	生産活動・就労支援部会
<p>テーマ：「未定」 サブテーマ：～未定～ ※大会趣旨にあるアナログマインドに関する内容で検討中。講師については東洋大学教授高山氏に依頼内諾を頂いている。 第5分科会 略称：_____</p>	未定	地域支援部会
<p>テーマ：「障害者の意思決定支援について」 サブテーマ：～未定～ 講師：東洋大学 志村健一氏 ※現在、同大学の教授を通して、紹介中。 第6分科会 略称：_____</p>	未定	支援スタッフ部会及び人権・倫理委員会

控え室等について

用途	会場名	備考
来賓控え室	検討中	
講師控え室	検討中	
(次期開催県) 控え室	検討中	
(次々期開催県) 控え室	検討中	
事務局	検討中	

※令和7年11月27日、28日の2日間ビックパレット全会場予約済み

【 その他 】

